

滋賀県民の皆様、患者様、患者家族の皆様

# 医学生や看護学生の 「プチ里親」 になりませんか？



過疎地に限らない  
滋賀県下の全域が  
対象です。

医学科、看護学科の  
いずれかの1回生です。

プチ里親  
とは？

将来**滋賀県内で働くことに興味**を持っている**滋賀医大の新入生**に  
対して、県下で生活する**住民の立場**から、地域の歴史や文化、産業や生活、  
医療の大切さなどを直接学生に伝える**アドバイザー**（のようなもの）です。

一方的な働きかけではなく、  
交流を通じて、滋賀の医療や  
滋賀医大の現状、いまどきの  
学生気質を知るチャンスです！



地域住民として、  
患者として、患者家族としてなど…。

## 実際に何をやるの？

- **まずは、医学生、看護学生への思いをお知らせ下さい。**  
また、医学生や看護学生に「知らせたい」「体験させたい」ことがあれば、教えて下さい。  
そうした情報と共に「プチ里親」として登録をさせていただきます。  
\*学生は入学した時に「将来は滋賀県で働いてもいい」と漠然と想着いても、滋賀県の文化や自然やそこの住民の生活を知っているわけではありません。医療は地域で生活する人たちを健康の面から支える活動ですから、地域を理解し、愛着を持つことが不可欠です。  
学生に、みなさんの地域の魅力や医療に期待することを伝えていただきたいのです。
- **その後、決められた「話題」について学生とEメールなどを交換する。**  
また、地域の行事や学園祭などの機会に学生と実際に会って交流して下さい。  
学生支援室が「窓口」になって、学生との交流を企画します。  
\*お祭りや収穫作業、ボランティアの呼びかけなど歓迎します。
- **さらに学生たちや「里親」との交流会、支援室主催の講演会などに参加する。**  
\*「里親」について：すでに地域で医師や看護師、保健師、助産師として活動している先輩が「里親」になります。「里親」は大学生活の相談にのったり、地域での医療活動の魅力や働きがいや語ったりなど、さまざまなアドバイスを通して、学生を応援します。ぜひ、「里親」との交流もすすめて下さい。